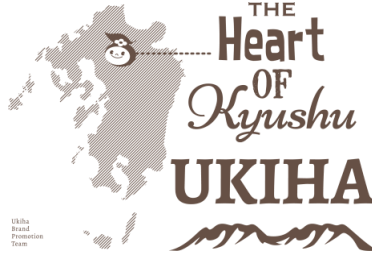


「うきはブランド通信」

U B C ~ukiha brand communication~

報道各社への取材の御案内



平成 29 年 4 月 19 日
福岡県うきは市

はう
市き

～「アーティストインレジデンス事業」で、オランダ人女性がうきはに滞在～ うきはを舞台に「愛」がテーマの短編映画を制作中

「アーティストインレジデンス事業」とは世界各地で実施されている文化芸術交流の取組で、アーティストが地域に滞在して創作活動を行うことで創作の独自性を高めながら、地域では文化芸術に触れることや情報発信などの効果を得ようとするもの。

今回、うきは市ではオランダ政府との連携事業として、短編映画作家シルヴィア・マルテスさん (Sylvia Martes、30代女性、アフリカ系オランダ人、言語は英語) を市内に招いた。

シルヴィアさんは4月1日から6月30日まで吉井町の古民家に滞在しながら、「愛」をテーマに地域の人々や風景を撮影して、作品を世界の映画祭に出品するなど市内外に発信していく。

なお、コーディネーターとして、元地域おこし協力隊で、Ukiha BEE (Bureau of Exchange and Experience) 馬場亮子さん (先月まで3年間、うきは市の地域おこし協力隊として、海外からの観光誘致などに活躍。4月からも市内に定住し、海外との観光コーディネーターとして起業) がサポートする。

【スケジュール】4月：市内で作品の主題探し 5月～6月：製作・完成後、市内で上映会

●お問い合わせは、広報係瀧内までお願いします (コーディネーターの馬場さんにお取り次ぎします)



▲写真左から＝高木市長、シルヴィアさん、馬場亮子さん (4月5日、市長訪問)

編集：うきは市総務課広報係 (Tel.0943-75-4980) 係長・瀧内宏治、重富結人 (瀧内：携帯 090-7454-6381)

※FAX を手にとられた方は、「うきは市ホームページ」掲載のカラー版を御覧ください→検索

2017.4.19 発表 / 「アーティストインレジデンス事業」でうきはに滞在のオランダ人女性、うきはを舞台に「愛」がテーマの短編映画を制作中